



【タイム】 出合(7:10)→遡行終了(9:30)

### ユミガ沢 1992年6月13日

夏合宿の偵察を兼ねて、男鹿山塊大川流域の支沢を遡行する。

7時ユミガ沢の遡行開始。大川への合流点の様相から感じた通り、平凡な沢である。何もないまま45分遡行して小休止しようとしていたら、右岸から合流する支沢から2頭のカモシカがかけ降りてきた。カモシカは今にも我々に飛びかかってくるのではないかという勢いでかけ下ってきたが、直前でカーブを切り、いったん下流へ下ったあと、また引き返して右岸の樹林帯へ消えていった。

思わぬカモシカとの遭遇のあと、気を取り直して先に進む。左右からの支沢に滝がかかるようになったところで本流にも小滝が出て来る。3m。このあと沢は岩の割れ目のような所を流れるようになり、やがて岩屑のいっぱいつまったミゾ状の流れとなる。平凡なままに高度だけ稼ぐようになり、やがてガレ状となって終了となる。あとはクマザサのヤブをこいで尾根へ。

(記

【タイム】 出合(7:00)→ユミガ沢終了(8:30)→尾根(8:50)

### ヤマナシ沢右俣 1992年7月25日

テン場にてそれぞれのパーティに分かれ、遡行予定の沢に散ってゆく。我々の目標はヤマナシ沢である。8時20分、出合。遡行開始。

すぐに最初の滝、3m。さらにナメを進んでいくと、3m、8mの2段の滝。シャワークライムで越える。そして3mの滝。これを越えると沢は平凡になってしまった。